

「サクラライザーと一緒に

地球温暖化防止について考えよう！」

地球温暖化防止に向けた講演・クイズ大会を開催

ACTIVE KUMIAI



多くの子供たちがサクラライザーと一緒に
環境問題クイズにチャレンジ

山梨県冷凍空調設備事業協同組合(山下喜幸理事長)と一般社団法人山梨県冷凍空調設備保安協会(矢崎忠芳理事長)は、3月24日、中小企業組合まつりの開催に合わせ、アイメッセ山梨で、「美しい地球を未来の子どもたちに」inやまなしくオゾン層保護・地球温暖化防止に向けてと題し、基調講演、パネルディスカッション、クイズ大会などを実施した。

この事業は、広く一般に対し、オゾン層保護・地球温暖化防止に向けた活動への理解と協力を得ることを目的として実施しており、今回で第4回目となる。

これまでは、主に事業者向けに「フロン排出削減対策」、「フロンの最適使用と管理方法」などを中心とした講演会とシンポジウムを開催してきた。

今回はこれに加え、未来を担う子ども達にも解りやすい組合・協会の活動を知ってもらうため、テレビ等でも人気の「甲州戦記サクラライザー」と地球温暖化防止について考えるクイズ大会を行い、多くの親子が参加した。

パネルディスカッションやクイズにも参加したNPO法人気候ネットワーク桃井貴子氏によると、本年2月14日～15日の観測史上1位を記録した本県の大雪もフロン等を含む温室効果ガスの影響による「温暖化」がひとつの要因とされている。

主催者である組合・協会では、「地球温暖化防止のための取組みは、フロンを取り扱う事業者だけではなく、消費者や行政等のフロン漏洩に関する監視の目も必要。さらに、多くの方が省エネや再生エネルギーに関する取り組みを行うことにより、温室効果ガス排出量の大幅な削減も可能。もっと一般の人々に協力してもらえよう啓蒙普及活動を続けていきたい」と語っている。



基調講演等にも多くの人が耳を傾けた